

迎春

本年も社会福祉事業の発展に、
一層の努力をいたす所存で

ありますので、

ご支援とご協力を賜りますよう

お願い申し上げます。

社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会

会長 横井 篤

役員一同



社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会

会長 横井 篤

あけましておめでとうございます。新年を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。

まずは、平素、会員の皆様におかれましては、本会事業に格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、改正社会福祉法が本格施行され、われわれ社会福祉法人は、ガバナンスの強化や透明性の高い法人経営に取り組み一方、地域社会に対してその公益性を発揮貢献すべく取り組んでまいりました。そして、このような中で、民生委員制度が百周年を迎え、地域福祉を支える仕組みも大きな節目となりました。

また、少子高齢化・人口減少の進展により家族・地域社会は変容し、制度の狭間にある生活課題が浮き彫りとなるなか、一億総活躍プランのもと、支え合いのかたちの再編をめざす「地域共生社会」の実現に向けた取り組みも求められております。

本会といたしましては、こうした背景を踏まえ、今後も「ともにつながり支え合う安心なまち」の実現をめざして、皆様と連携・協働し取り組んでいく所存でありますので、皆様には一層のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本年も、皆様方にとってよい年であり、地域福祉が進展することを祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

二〇一八年 年頭所感



民生元年

岐阜県民生委員児童委員協議会

会長 本田 學



新年明けましておめでとうございます。昨年、民生委員制度創設100周年記念

が関係機関等のご協力を賜り、また民生委員・児童委員、主任児童委員全ての皆様のおかげで無事に終えることができましたこと、厚く御礼申し上げます。

いよいよ、新たな100年に向けて「民生元年」の一步を皆様と共に踏み出します。地域社会が大きく変化する中、100年たった今日でも人と人とのつながりは最も大切なことであり、特に必要とされる時ではないかと思えます。厚生労働大臣の委嘱や無報酬のボランティア、児童委員の兼務、守秘義務、一期三年を今後も堅く守り続けていくことが、一層の充実と発展につながります。さらなる地域の要として私たちは、先人の弛まぬ努力と情熱に学びながら「民生委員児童委員信条」を受け継ぎ、時代に即した新しい風を取り入れて「誰もが笑顔で安全に安心して暮らせる地域づくり」に取り組んでまいります。

本年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

地域共生社会の実現に向けて

岐阜県社会福祉法人経営者協議会

会長 井上 悟



あけましておめでとうございます。さて、平成29年4月に改正社会福祉法が完全

施行されたことを受けて、各社会福祉法人におかれましては、定款変更や組織変更等の必要な対応を実施されたことと存じます。

しかし、今回の社会福祉法人制度改革への対応は、これで終了するものではなく、今後、組織運営のガバナンスを強化し、高い透明性を持った社会福祉法人が、「地域共生社会の実現」に向けた取組みを行い、それらを地域へ、社会へ情報発信していくことが求められています。

そのため、経営協では、社会福祉法人を支援するため、セミナーやメールマガジンによる情報提供、社会福祉法人のイメージアップを図り、会員法人の情報発信力を高めるための広報戦略等、多数の事業を展開しております。

経営協は、地域に根ざした社会福

祉法人を目指す会員法人の活動を支援して参りますので、今後も、関係者のご理解とご協力を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

新年のご挨拶

岐阜県老人福祉施設協議会

会長 若山 宏



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、つづがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年4月施行の社会福祉法人制度改革によって理事、監事、評議員の役割が大きく変わり、経営組織のガバナンスの強化や地域における公益的な取り組みを行なう責務などの実施に向け本会としても研修等を実施してまいりました。

本年4月には介護報酬改定が行なわれますが特別養護老人ホームの収支差率は1.6パーセントで赤字施設が33.8パーセントと言う状況の中、加算ではなく本体の報酬単価アップと食費及び居住費の見直しの為の活動によって、より質の高いケアが出来る環境作りの為に邁進してまいりますので、今年も昨年

同様にご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

年頭にあたり

岐阜県保育研究協議会

会長 福富 泰岳



新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

近年、子どもや子育てを取り巻く環境が変化し、保育所・認定こども園に求められる役割や機能も多様化・複雑化しています。それに対応すべく、保育士・保育教諭には日々の業務改善に加え、その専門性を向上させていくことが重要となつていきます。

本会では、保育の質の向上のため、従来から県内保育士のための各種研修事業を県から受託し実施してまいりましたが、来年度からは、厚生労働省がすすめる「保育士等キャリアアップ研修」にも対応すべく準備をすすめているところでもあります。

今後におきましても、行政機関、専門機関、地域住民との連携を強化して、保育の使命や社会的な意義と役割を的確に捉えつつ、保育所・認定こども園の機能及び質の向上に努めてまいりますので、本年も、皆様方のご協力、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

子どもの幸せを考えて

岐阜県児童福祉協議会

会長 井上直寛



皆様 新年あけましておめでとうございます。どうぞごきげんください。

年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

日本に生活している子どもの養育について昨年8月に新たな「社会的養育の在り方に関する検討会」から出された『新しい社会的養育ビジョン』の中にも示されていますが、全ての子どもの健全な育ちを保障する観点から子ども家庭の支援を主体的に考えると共に虐待等、様々な要因によつて健全な育ちが阻害されている子ども達に対して、養子縁組・里親委託・その他の児童生活支援施設等、また一番重要と思われるのが、子どもを取り巻く大人たち社会全部で育てていく事が最重要であると思えます。そうした観点から岐阜県児童福祉協議会は会員一人ひとりが出来る事を実践して、住みよい社会づくりに邁進せねばならない

と思います。本年もどうぞよろしくお願ひします。

年の初めに当たって

岐阜県知的障害者支援協会

会長 小坂孫次



新年あけましておめでとうございます。年の初めに当たって、景気の回復と共に増々福祉現場の人材不足は厳しさを増すと思われます。

国は一億総活躍社会を実現するため、定年延長や保育園の整備、教育の無償化を進めようとしています。振り返って、障がい者福祉の現場は、津久井やまゆり園の事件を検証した結果、防犯体制の強化等を基本とした対策であり、施設の中での課題点を掘り下げようとはしませんでした。それは施設経営のあり方、職員の働き方、利用者本位の施設となつているかが問われるべきです。

岐阜県についても、近年教育現場の整備や就労支援体制、スポーツ施設の整備、障がいに寄り添つ

た相談支援センター等国の施策にそつた整備がされている事は大変ありがたい事ですが、いくつかの事業現場において充分に手が差し延べられていない実情があります。すべての障がい者の自立は社会にとつても大きな利益をもたらすはずです。その事を胸に秘め新たな年に向かいたいと思ひます。

新年を迎えて

岐阜県身体障害者福祉施設協議会

会長 藤 晃太郎



新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

平成30年は障害者計画、障害福祉計画が見直される年でありま

す。さらに昨年国から示された「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現についての議論も深まるでしょう。

我々の施設がそれぞれの地域の拠点となるべくその役割を積極的

に発信し、今以上に権利擁護の遵守、ケアの質の向上を強化しなければなりません。

質の高いケアの実現において人材の質的、量的な確保は各施設においてもつとも苦勞をしておられる課題だと思ひます。

職員が安心して働ける職場環境をつくり、専門性と誇りを持つて支援に取り組んでいただけのようにすることが、利用者の方々の「安心」を担保することにつながると考えます。

本会といたしましても職員の資質向上のための取組など諸課題に迅速に対応できるよう努めてまいりますと存じます。

どうぞ本年も皆様のご指導、ご協力をお願い致します。

